

平成18年度 第1回 槻の木高等学校 学校協議会（協議内容報告）

1. 日 時 平成18年 7月15日（土） 午後4時～

2. 場 所 槻の木高等学校 応接室

3. 参加者 委員名簿参照

4. 内 容

1) 学校長挨拶

4期生が入学し、協議会も新たなメンバーを迎え、学校創立の時期を終え、次の5年10年を見据えて新たな課題を発見し、克服していく時期になりました。子ども達のために何ができるか？皆さんとの話し合いの中から、良いことをどんどん取り入れていきたいと思っております。子ども達のために、ご意見・ご提案をお願い致します。

2) 委員紹介

3) 事務局紹介

4) 会長選出 吹田さん（満場一致）

【会長（吹田さん）挨拶】

1期生の保護者として、昨年度末にわが子を卒業させていただきました。今年度は後援会会長として、槻の木高校とのお付き合いが続くことになりました。皆さんのお力をいただきながら、高校とつながっていききたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。

5) 今年度の学校の取り組みについて

【秋元（首席・学習指導室長）】

本年度より、今までの教育方針をさらに推進していくために、組織を再編いたしました。4室体制は変わらないのですが、「学校運営室」「学習指導室」「生活指導室」「学年室」の4室としました。従来、他校などでは、進路と教務が分かれており十分な連携が取れないケースも見られました。そこで本校は、その2つの分掌を「学習指導室」にまとめました。「学習指導室」には進学対策委員会と学力保障委員会を設置し、生徒全体の学力向上を図ることとしました。また「学校運営室」は、学校全体の基盤整備として、地域連携をはじめ様々な取り組みを統括する室としています。次に、生徒の学校生活に関わることについて、生徒指導や保健、生徒会などを統合して「生活指導室」としました。そして3学年を統合した「学年室」が生徒の窓口となってサポートします。

今年度の大きな課題として、一つは学力の高い生徒層が入学している現状のもと、いかに家庭学習の定着を図るかを考え、学習に対するモチベーションを維持させていくかということ。もう一つは、部活動と学習の両立を図るということです。今回の協議会では、各委員の方にこれらの問題を解決すべくご提言をいただきたいと考えております。

#### 6) 生徒代表スピーチ

【八木くん】 3年、前生徒会会長、サッカー部

現在志望校を決定し、この夏休みに学習に励み、力を伸ばしていきたいが、一方でサッカー部の活動も続けている。そのため時間が足りなく、どちらも中途半端になっているような気がする。平日は部活動のあと、自宅での学習時間が短くなりしんどいと感じる部分がある。周りの人たちの様子は、勉強をうまく進められている人と、そうでない人が両極であるように思う。

【乾さん】 3年、硬式テニス部キャプテン

今までの高校生活を振り返ると部活動が9割、勉強が1割であったように思う。2期生の硬式テニス部の活動は、指導してくれる顧問を探すところからはじまった。2年次より指導者がつくようになった。そのために生徒と指導者との間に溝ができて大変な時期もあったが、うまく乗り越えることができた。そのおかげで今はクラブもうまく活動できている。3年になってなかなか勉強に集中できない自分がいるが、志望校の赤本を机の上に置き頑張っています。

【屋敷くん】 3年、サッカー部キャプテン

槻の木高校を受験した理由は、①勉強をしっかりしている学校であること、②サッカー部で全国大会に行けたら、と考えたから。現在8月終わりの公式戦に向け毎日活動中なので、土曜講習や夏期講習などは取りたくても取れない。ただ、夏期講習は先生方が、普段なら設定しないような時間帯に講習を用意してくれたこともあり、2講座申し込んでいる。また夜は塾に通って勉強時間を確保している。クラブに入ってよかったことは、挨拶などの礼儀を学んだことにより、人として成長でき、コミュニケーションの大切さなどを培うことができたことです。

【吉川さん】 2年、生徒会長

まだ2年生ということで、進路について直面しているという実感はない。私の場合、高一のときは学校に慣れること、高二のときに一つひとつの行事に真っ向勝負していけば良いと考えている。その中で、行事などと勉強の両立が大切になっている。でも一つひとつやりきっていくつもりです。1期生・2期生の先輩方が培われてきた槻の木の伝統を引き

継ぎ、さらに発展させて行きたいと思い生徒会に立候補しました。明るく楽しい学校づくりを目標にしています。

7) 質疑応答 (☆委員の質問 ★生徒・教員の解答)

☆ 3年生がクラブを引退する時期はいつ頃ですか。それぞれのクラブで決まっているのですか。

★ 多くの体育系クラブが、インターハイ予選(5~6月)を一つの節目として引退している。野球(7月)・サッカー(8月末から)など予選が遅い競技はその後になります。文化系クラブの方は、夏休み中~文化祭までが多いです。

☆ クラブ加入率はどれくらいですか。また入部している人とそうでない人、どちらの方が良く勉強していると思いますか。

★ 加入率は全体で70%です。勉強はやはり部活に入っている人の方が、テスト前など集中してやっていると思います。

☆ 生徒達の学校生活はどうですか。

★ 服装については、部活をしている人のほうがしっかり着こなせていると思う。また、普段学校外で楓の木の生徒を見たときに、他校とちがって髪を染めている人やピアスなど装飾品をつけている人がほとんどいない。

☆ チャイムの音色を校歌に変えたことについてはどう感じていますか？

★ まだ慣れていません。

8) 各委員からの提言

【加治佐さん】

部活動と勉強との両立という問題はわかりやすいが、答えは難しい。私の場合、勉強の動機はハングリーさにあったと思う。田舎から出てきて「やるしかない」という気持ち。大学では留年したが、そこでダメにならずよみがえる事ができた。それは、やらされている状態ではなく自分でやると言う習慣が必要であることに気がついたから。受験勉強は「やらされている」勉強である。しかし、勉強はムダではない。振り返ると高校時代が一番勉強していた。部活との両立は、中学までは易しいが、高校では難しい。現実的には、何か

をがまんする事が必要である。

【芝井さん】

高校二年の後半に、このままでは自分の進みたい大学には進学できない、いくつか足りないものがあることに気がつき、モチベーションを高くして、大学受験の準備をはじめた。最初に行った事が、部屋の模様替えで、勉強に関係ないものを処分した。逆に、必要な参考書などを机の周りに置いた。次に1週間の計画表を作るようにした。1週間全体で、勉強に使える時間を算出し、各教科に割り振る時間を考えた。さらには、高二の時に高三の模擬試験を受け、できないことを自分に自覚させ屈辱を受けることで、逆にやる気を高めていった。部活は、高校3年生の七月までバスケットをしていた。時間は少なかったが、何とかして学習時間を捻出した。学習と部活動の両立は何とかなるものです。みなさんはこれから伸び続けていきます。引退した後、最後まであきらめずにやり続けることが大切です。

【斉藤さん】

時代も教育も違いますが、私の場合、良くも悪くも中学校時代が一番楽しかったです。学校にはいろんなタイプの人たちがいます。時には、うまくいかない人間関係も出てきますが、そういった時には自分の人生の中における乗り越えなければならない課題であると考える。受験勉強の前など、音楽を聴いたりして、必ずリラックスするようにしたことがよかった。私の時代は、部活動はあまりなかったです。でも、クラブがあるから学校生活が楽しいわけだし、夢があれば将来に向け明るく考えることができる。勉強しなければならぬという事は、自分の家族のために必要な考えです。家族の絆を大切に、この樹の木で明るい未来をつくっていくことが大切です。

【吹田さん】

私は新潟で育ちました。大学進学については、自宅から通える学校が少なく、必ず下宿することを迫られました。現在の大阪では、自宅から通うことができる大学がいくつもあって良いと思いますし、親に対しお金の問題など（心配する必要がない人も多く）恵まれていると思います。自分の目標を高く持ってほしい。私の子どもは、一年のときに部活動をしていましたが、その経験が、受験のラストスパートに活かしたと思います。本当にわが子が勉強を始めたのは、高校3年生の秋からですけれど…。本人は、3年間塾に通わず、学校の勉強だけでがんばっていました。一般に部活動は、自分の夢を追いかけていく中で両立できるのであればやったほうが良いと思います。

【壺谷さん】

話は少しそれますが、今年の体育大会について、今までに見てきた体育大会の中で、最

高のものだと思いました。皆さんの団結力・一生懸命さを感じることができました。その部分を誇りにしてほしい。また、今日発表してくれた4人の生徒さんは皆さんきちんと話ができ、コミュニケーション能力がついている。このことにも大いに感心した。部活に関しての話で、挨拶ができるようになることはすごく大切なことです。今、企業が求めている人材は、コミュニケーションがとれる人材である。その部分では、皆さんは十分合格ラインに達しているといえます。少々勉強ができなくても大丈夫です。自分の夢・希望を失ってはいけない。それに近づく力は、いろんな問題を一つひとつ解決していくことで、伸びていきます。自分が身につけたことは、将来に向けて大きな武器となります。

#### 【田鎖さん】

2つお話します。私は若いころドイツに憧れて、大学ではドイツ文学を専攻し、何回かドイツにも旅行しました。そして今では、ドイツのほとんどの都市に行きました。歩いた道は地図の上に印をつけています。しかし、まだ行ったことがない国も多くいろんな国に言ってみたくて常々思っています。『知らないことを知りたい』この気持ちが強いのです。つまり、『何かをしたいという気持ちを持つことが大切』だと思います。もう一つは、部活動の話です。勉強ばかりやって成績が良くても当たり前やないか、と友人に言われたことが悔しく、ラグビー部に入部しました。すると、最初体がなれていなくて勉強ができず、成績が急降下しました。そこで、朝4時に起きて7時までの3時間に5～6時間分の勉強ができるように努力をしました。部活との両立をするためには、朝の時間を有効利用することが大切だと思います。クラブがあるから勉強できないというのはウソだと思う。実際友人は両立しながら現役合格を果たしました。工夫次第で乗り越えていくことができるのではないのでしょうか。目標を定め一心不乱にがんばる、このことが大切。悩んでいるうちが花です。不合格になってもクラブのせいにはしないでほしい。

#### 【芝井さん】

私の場合、目覚まし時計を枕元におかず、洗面台のところにおいて、朝起きることができるようになりました。目覚ましを止めないとうるさく家族に迷惑をかけるので、止めるために洗面台のところまで行く。そこで、歯磨きをします。(顔を洗うのは冬場など少し抵抗がある)歯磨きが終わるころには目が覚めてきます。もう一つ、自分にとって、易しい参考書を繰り返し行うことが大切です。10割とはいえませんが、8割以上の成績を残せるようになると思います。そうすると、教科書を覚える力がついて学力を伸ばすことができます。どの教科もちょっとした工夫でうまくできます。ただそれを自分で見つけることが大切です。

#### 9) まとめにかえて

#### 【松本校長】

今後も、各委員の専門性を生かして、本校教育の発展につなげていきたいと思いを。本校も4年目を迎えました。3年目までは創立・土台作りの時期でした。4年目は成長の時期、つまり棟上、建物作りの時期であります。今までの取り組みを如何に維持しながら、更なる発展を目指すことができるかがポイント。一定の学校に対する評価をいただいておりますが、そのことで、教員が安心し、努力を忘れてはいけないと思いを。私を含め教員自身も現状に満足、慢心することのないようにしていきます。今後ともいろいろなご意見をお聞かせください。本日はありがとうございました。